

産業

# 次世代製品を開発し量産化へ



▲不二ライトメタルの「先端技術・実証評価設備工場」内に導入した熊大 Mg の接合設備。回転軸の摩擦熱でマグネシウム板を接合する。工場の総事業費は8億5千万円。研究開発員8人を含む18人体制で量産に向けた課題解決に取り組む

産業の空洞化が叫ばれ、日本の優れた技術力による国内製造業の復権に期待が高まる中、熊本で次世代製品を開発し量産化へ動きだしている2つの会社がある。いわば「熊本発モノづくり力」が、国内外の市場で評価されるのか、その動向が注目されている。

# 動きだす「熊本発モノづくり力」



イー・エル・テクノの有機ELパネルを使ったデザイン照明。ガラスの底にあるパネルが発光している。2月にグランメッセ熊本であつたくまもと産業ビジネスフェアで撮影

▶不二ライトメタルが量産化を目指す熊大Mgのインゴット(塊)。強度と耐熱性に優れ、鉄の4分の1、アルミの3分の2といった軽量化も実現した。自動車や医療分野、構造物など様々な用途が見込まれ、同社では100社を超える企業にサンプルを供給している



合志市福原の工場で有機EL照明を開発・製造する(株)イー・エル・テクノ(福岡市)は、来年度から照明メーカー向けの量産を軌道に乗せたい意向を持つ。「いよいよ開発製造から『売る』段階に入った」と豆野和延社長は表情を引き締める。同社製品を自社のビジネスに取り込もうとする地場製造業を中心とした産業促進協議会も発足し、有機ELの産業化の動きも進みつつある。

長洲町長洲の軽金属押出加工メーカー、不二ライトメタル(株)(中重健治社長)は、熊本大学の河村能人教授が開発した次世代素材の「KUMADA I マグネシウム合金(熊大Mg)」の製品化に取り組む。同大と共同開発を始めて10年目の昨年は量産化に向けた実証評価設備工場が完成、加工設備も導入し「より製品に近い、形あるサンプルの供給が可能」(井上正士執行役員 研究開発・商品開発部長)となった。今年にはサンプルの量産を本格化させる計画だ。

## 4月から休診日が変わります。

休診日 ◎日曜日と祝日 ◎第2・第3・第5火曜日

土曜日は午前・午後も診療を行っています。

診療カレンダー

4月	日	月	火	水	木	金	土
	*	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	*	*	*	*

※黄色が休診日となります



患者様にはご不便をお掛け致しますが、これまで以上に患者様の立場に立った医療サービスの向上に努めます。

内視鏡専門施設  
医療法人 社団 魁正会

### 服部胃腸科

〒860-0004 熊本市中央区新町2-12-35  
☎096-325-2300  
FAX096-352-4778

服部胃腸科 検索

全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診 認定医療機関